

別記様式

| | | 担当課 | 商工観光課 |
|---------------------|--|-----|-------|
| 会議の名称 | 令和8年度 ジョブサポートこうのす運営協議会 | | |
| 開催日 | 令和8年4月24日（金） | | |
| 開催時間 | 13時55分 開会 ・ 14時25分 閉会 | | |
| 開催場所 | 鴻巣市市民活動センター 会議室C | | |
| 議長（会長）氏名 | 会長（市長） 並木 正年 | | |
| 出席者(委員)氏名 (出席者数) | 協議員 凶師 兼嗣、荻原 秀史、長澤 和弘 | | (3名) |
| 欠席者(委員)氏名 (欠席者数) | 協議員 安東 卓也 | | (1名) |
| 事務局職員職氏名 | 商工観光課 課長 小林 勝（司会） 障がい福祉課 課長 高田 史 商工観光課 主幹 大澤 実 商工観光課 主幹 渡辺 千恵 商工観光課 主任 関口 萌美 大宮公共職業安定所業務部 部長 鹿島 貴彰（オブザーバー） | | |
| 傍聴の可否 (傍聴者数) | 傍聴可（傍聴者なし） | | |
| 会議の内容 | （議題） 1 開会 2 協議員紹介 3 挨拶 4 議案 【議案第1号 令和7年度ジョブサポートこうのす事業報告について】 令和7年度ジョブサポートこうのす事業報告について説明し、原案のとおり承認された。次のような質問があった。 ・新規求職者件数や相談数が全体的に減少傾向にあるが、その原因は。 →ジョブサポートこうのすだけではなく、ハローワーク全体に言えることであるが、民間の求人サイトの利用が拡大しているため。 ・1、求人検索・職業相談・職業紹介事業の⑥就職率の過去3年間の推移は。 →R5：31.2%、R6:34.1%、R7:36.8%であり、上昇傾向にある。 【議案第2号 令和8年度ジョブサポートこうのす事業計画（案）について】 令和8年度ジョブサポートこうのす事業計画（案）について説明し、原案のとおり承認された。次のような質問があった。 | | |

・若者・マザーズ・シニアと対象を絞ってセミナーを開催しているが、絞った方が良いものなのか。

→求めているものは異なるため、対象を絞って開催をした方が良いと考える。

・シニア就職支援セミナーは、ほかのセミナーと比べて開催回数が多く、定員も多く設定されているが、鴻巣市はシニアに重点を置いているということなのか。

→申込数も多く、需要が高い状況にあると認識している。

・令和8年度の事業計画(案)では、就職率の年度目標が34.0%となっているが、令和7年度の事業報告で就職率が36.8%とすでに目標値を超えている。目標値を設定しなおしても良いのではないか。34.0%の設定根拠は。

→過去3年間R5:31.2%、R6:34.1%、R7:36.8%の平均値により、34.0%としたが、すでに達成しているため、令和8年度の目標値は37.0%とする。

【議案第3号 令和9年度ジョブサポートこうのす事業計画(案)について】

令和9年度ジョブサポートこうのす事業計画(案)について説明し、原案のとおり承認された。

全体をとおして、次のような質問があった。

・ハローワーク(公共職業安定機関)と民間の職業紹介事業者との棲み分けは。

→ハローワークは無料で職業紹介を受けられるのに対し、民間の職業紹介事業者では、採用時に年収の約30%前後の紹介手数料が発生するなど、費用面で大きな違いが見られる。また、近年の民間の職業紹介事業者においては、SNS上で手続きが完結するなど利便性が向上していることから、若年層におけるハローワーク利用の減少が見られる。一方、シニア世代のハローワーク利用は増加傾向にある。

【事務局からの連絡事項】

協議員の任期が、令和8年10月2日までの2年間となっている。再任等については、後日、通知を送付する旨を伝える。

5 閉会

資料

【配布資料】

- ・次第
- ・議案第1号 令和7年度ジョブサポートこうのす事業報告
- ・議案第2号 令和8年度ジョブサポートこうのす事業計画(案)
- ・令和8年度「ジョブサポートこうのす」事業計画(案)(セミナー・面接会開催予定)
- ・議案第3号 令和9年度「ジョブサポートこうのす」事業計画(案)(セミナー・面接会開催予定)
- ・平成22年12月28日付けアクション・プランに基づき鴻巣市と埼玉労働局が雇用、福祉、産業施策等を一体的に実施するための協定
- ・ジョブサポートこうのす運営協議会議事規程
- ・ジョブサポートこうのす運営協議会協議員名簿

注 会議の内容の欄は、主な意見や質疑内容を交えて概要を記入し、記入事項が多い場合は、別紙に記入するものとする。